

審査項目及び評価基準	配点	評価点					備考
		極めて良好 (10点) 5点	良好 (8点) 4点	普通 (6点) 3点	やや不十分 (4点) 2点	不十分 (2点) 1点	
1 実施体制及び実績等について							
・事業内容及び目的に関する理解や知識があり、また、必要な職種の人員を確保し、確実に実現可能な体制となっているか。	10点						
・これまでの実績や経験を本業務に生かすことは可能か。	10点						
小計 (a)	20点						
2 実施計画について							
・スケジュールが実現可能かつ実効性の高い内容であるか。	5点						
・事業経費の積算は適切であるか。 ※事務局評価 価格の優位性は、予算額と最低見積価格の差額を5で除した額をAとし、以下の基準とする。 最低見積価格以上、(最低見積価格+A)未滿→極めて良好 (最低見積価格+A)以上、(最低見積価格+A×2)未滿→良好 (最低見積価格+A×2)以上、(最低見積価格+A×3)未滿→普通 (最低見積価格+A×3)以上、(最低見積価格+A×4)未滿→やや不十分 (最低見積価格+A×4)以上、予算額以下→不十分	5点						
小計 (b)	10点						
3 企画提案について							
(1) 共通テーマについて							
・次の(2)から(4)までの製作物が共通のテーマのもとで製作されており、小学4年生をターゲット層にしつつも、世代に関わらず誰もが環境保全、資源循環等に対する興味や関心を持ち、直感的に理解することができるようなものになっているか。	5点						
(2) サイン(番号、ピクトグラム)や説明パネルについて							
・ユニバーサルデザインを意識した色、デザイン等で見やすく、誰もが興味や関心を引かれるものとなっているか。	10点						
・番号やピクトグラムが説明パネルに記載されている等、互いに関連性がとられているか。	10点						
・説明パネルの内容やレイアウトが分かりやすいものとなっているか。	10点						
・素材が設置箇所(耐久性や耐候性が必要な箇所)に対して適切なものを使用しているか。 ・サインの落下防止、説明パネルに触った際のケガ防止などの対策はとられているか。	10点						
(3) シンボルレリーフについて							
・誰もが理解しやすいものとなっているか。	10点						
・缶(アルミ缶やスチール缶のプレス成果品を加工したもの)やガラスカレット(びんを細かく破碎したもの)が1種類以上レリーフの一部に組み込まれており、創意工夫が取り入れられたものとなっているか。	10点						
・製作、設置が実現可能なレリーフとなっているか。 ・落下、倒壊のおそれがない等、設置方法は適正か。 ・見学者が触れたときにケガをしないよう対策がとられているか。	10点						
(4) その他提案について							
・その他環境保全、資源循環等について、より理解が深まり印象に残ると考えられる提案があるか。	5点						
小計 (c)	70点						
合計 (a) + (b) + (c)	100点						